

車線規制時間の短縮

交通を確保しながら、歩道等から工事測量や出来形計測が行え、車線規制の不要または短縮が可能となる。

車線規制が必要



レーザープロファイラでの測定

車線規制が不要



出来形管理用TS

出来形計測作業の省力化・効率化

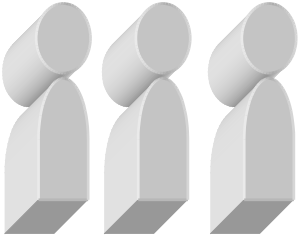
TSによるワンマン計測、自動計測機能により、工事測量、出来形計測作業の労力削減、時間短縮が図られる。

舗装工の出来形管理作業の例



従来手法での計測方法

計測人員



最低3人は必要



TS手法での計測方法

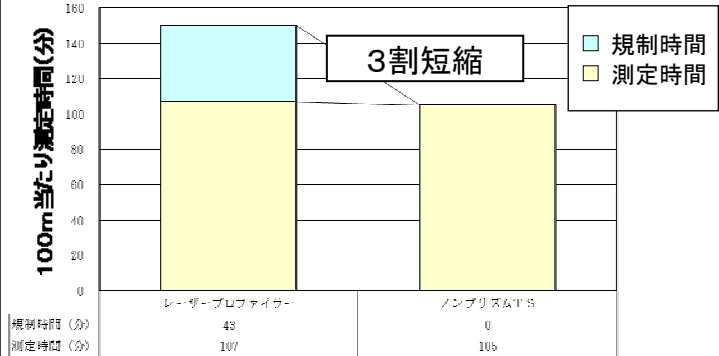


1人にて可能

工事測量（路面の横断測量）の例



レーザープロファイラ測定



※測定時間には機器の設置を含む
TS計測では車両通行規制が不要

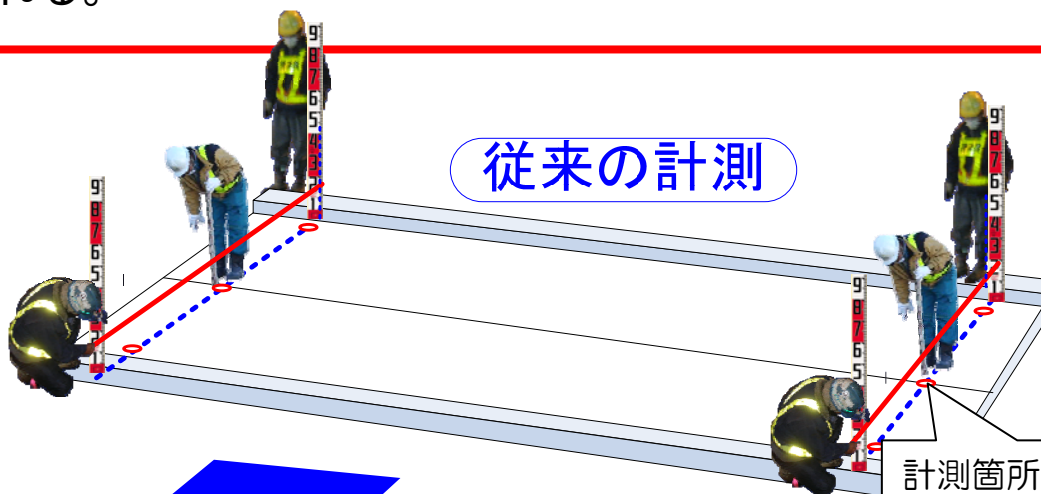
出来形品質の均一化

施工中の出来形計測・良否判定や出来形計測点の多点化管理が容易に可能となり、出来形品質の均一化が図られる。

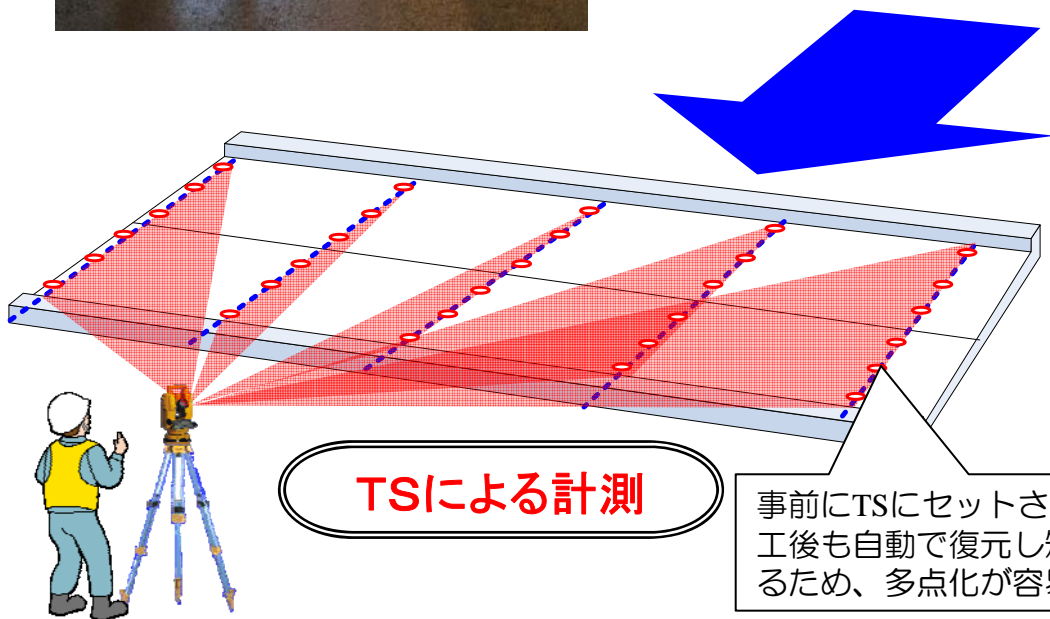
従来の水糸・巻尺による計測状況



従来の計測



計測箇所のマーキング後計測



TSによる計測

事前にTSにセットされた計測点を施工後も自動で復元し短時間で計測するため、多点化が容易になる。



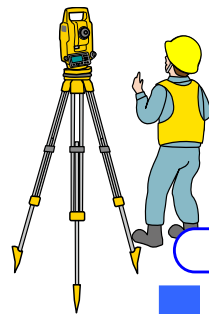
TSの出来形計測状況
(ワンマン)

内業の効率化

工事測量による舗装計画図面等の作成や出来形計測結果の出来形管理資料作成に係るデータの記帳・入力作業が自動で行え、ミスの防止、内業の大幅な縮減が図られる。

～出来形管理計測の作成手順～

① 出来形計測



施工者



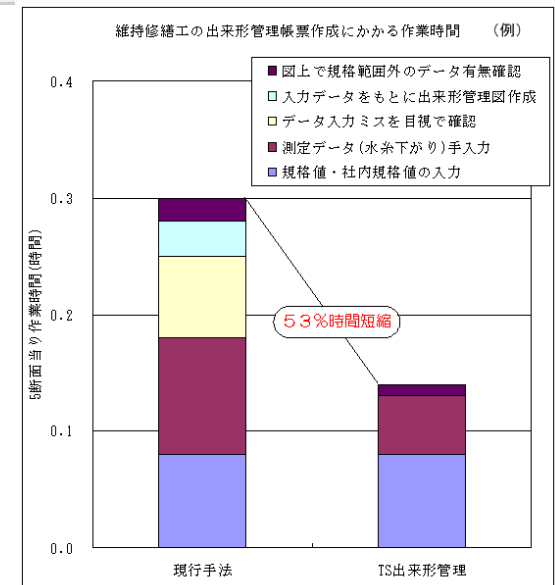
メモリーカード

② 出来形計測データの自動取り込み

出来形帳票
作成ソフトウェア



③ 出来形管理資料の自動作成



計測作業の安全性向上

歩道等からの工事測量や作業帯外からの出来形計測が可能となり、交通事故や重機災害の未然防止につながる。



車道規制外からの計測状況

通過車輛等により、レーザー光が遮断されても、リトライ機能により自動で再計測を行います。

